

自助・共助・公助の連携

災害による被害を最小限に抑えるためには、「自助・共助・公助」の三つが連携することが重要だと言われています。

自分ひとりでは対応できない状況になったとき、頼れるのは共助です。そして、公助の手が円滑に被災者のもとへ届けられるには共助との連携が欠かせません。こうした連携が被害の拡大を防止し、一日も早い復旧・復興を実現するために必要となります。



自主防災組織(自主防災会)の役割

自主防災組織は、大規模な災害が発生した場合、地域住民が的確に行動し被害を最小限に抑えるために、日頃から地域内の安全点検や住民への防災知識の普及・啓発、防災訓練の実施など、災害に対する備えを行います。

また、実際に災害が発生した際には、初期消火活動、被災者の救出・救助、情報の収集や避難所の運営といった活動を行うなど、非常に重要な役割を担っています。

避難行動要支援者名簿登録制度

久御山町では、災害時に1人では避難することが困難な方を地域の方などと協力しあって避難していただくため、避難行動要支援者名簿を作成しています。

避難時に不安だと思われる方は事前に登録をお願いします。

※登録できる方の要件があります。町ホームページや募集パンフレット等でご確認ください。

<https://www.town.kumiyama.lg.jp/>

非常持出品チェックリスト

いつでも持ち出せる場所に保管しておきましょう。次の例は、避難するときに役立つものです。家族で何が必要か考えておきましょう。

災害に備え非常持出袋を準備しておきましょう。

- 懐中電灯・予備乾電池**
災害はいつ起こるかわかりません。予備の電池も忘れないようにしましょう。
- 携帯ラジオ**
災害の情報など、自分の現在の状況を把握するために必要です。
- ロープ**
緊急脱出、救助、その他いろいろな利用ができます。
- ローソク・マッチ・ライター**
- カセットコンロ**
- カセットボンベ**

避難するときに必要なもの

- ハザードマップ**
様々な情報が記載されています。
- 貴重品**
(現金・通帳・保険証・印鑑・免許証など)
いざという時に持ち出せるように保管場所を決めておきましょう。
- 衣類・下着類**
避難が何日続くかわかりません。最低限の用意をしておきましょう。
- 靴**
浸水時の長靴は避けましょう。底の厚い靴にしましょう。
- ヘルメット等**
- 杖**
頭部の保護に必要です。
- 軍手**

感染症対策グッズ

- マスク**
- 消毒液・除菌シート**
- 体温計**

家族構成によって準備するもの

- 救急セット**
持病がある方はその薬も忘れないようにしましょう。
- 赤ちゃん用品**
オムツ・ミルク・哺乳瓶など
- 高齢者や病人**
常備薬・介護用品

その他あると便利なもの

- 非常食・飲料水**
食料は1人あたり3日分、水は1人1日3ℓを目安に。
- 生活用品**
タオル・ティッシュ・ビニール袋・ナイフ・カッター・簡易トイレなど。
- 毛布**
- 工具類**
- モバイルバッテリー**

「私は無事」を発信 災害用伝言ダイヤル171(忘れてイナイと覚えてください)

災害用伝言ダイヤルは災害が発生して、被災地への通話がかかりにくい状態となったときに被災地内の方への安否確認ができる情報伝達の手段として利用できる「声の伝言板」です。「171」をダイヤルし、利用ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生を行ってください。提供開始や録音件数等、提供条件についてはNTTで決定しテレビやラジオ等でお知らせします。



被災地内の方も、被災地外の方も被災地の方の電話番号を市外局番からダイヤルしてください。
※録音された伝言は被災地の方の電話番号を知っている全ての方が聞くことができます。聞かれたくないメッセージを録音する場合は、あらかじめ暗証番号を決めておく必要があります。設定方法はNTTまでお問い合わせください。